

令和6年度ホタテガイ採苗情報（第9報）

令和6年6月10日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：広域振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



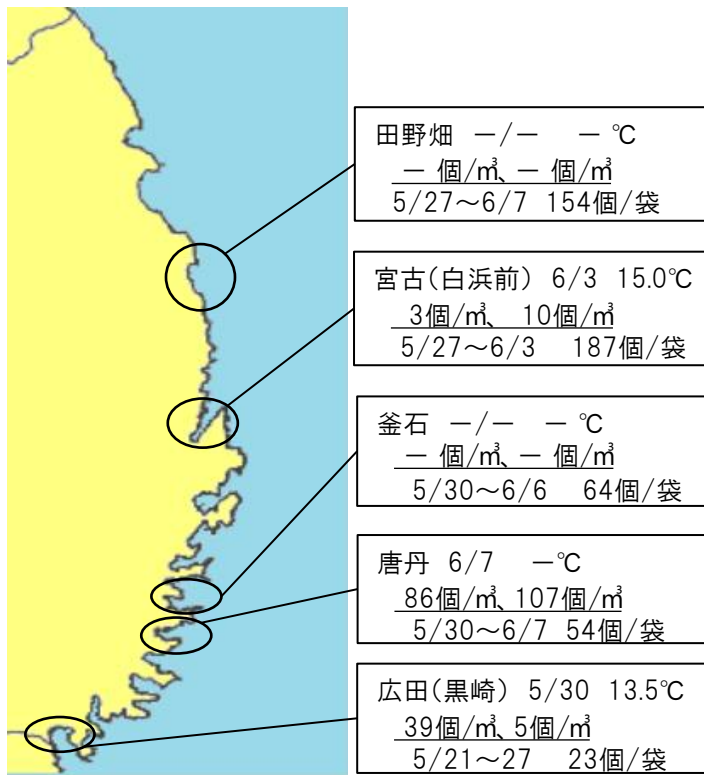
ホタテガイのラーバ・付着稚貝が増加しています。
採苗器の投入を続けてください。

＜調査結果の概要＞

- 6月7日の唐丹湾の透明度は6mでした。水温は欠測です。
- 唐丹湾では、殻長200 μ m未満の小型のホタテガイラーバが86個/ m^3 （昨年同時期：352個/ m^3 ）、200 μ m以上の大型のラーバが107個/ m^3 （同：65個/ m^3 ）出現しました。
- その他のラーバ出現数は、ムラサキイガイが77個/ m^3 、キヌマトイガイが40個/ m^3 、エゾイシカゲガイが86個/ m^3 、その他が3個/ m^3 でした。
- 広い範囲で付着稚貝の出現が続いています。
- 付着稚貝の数が前回より増加している傾向にあるので、採苗器の投入を続けてください。

＜噴火湾の状況（ホタテガイ採苗情報第10号（6月5日発行））＞

- ラーバは大型（200 μ m以上）が主体。
- 付着稚貝は、5月下旬調査時よりも増加（176～217個/袋）。



調査点	調査日	水深10m層水温	ラーバ出現数(殻長200 μ m未満, 200 μ m以上)	試験採苗器垂下期間	付着稚貝数
-----	-----	----------	--	-----------	-------

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月14日頃に
発行する予定です。

